

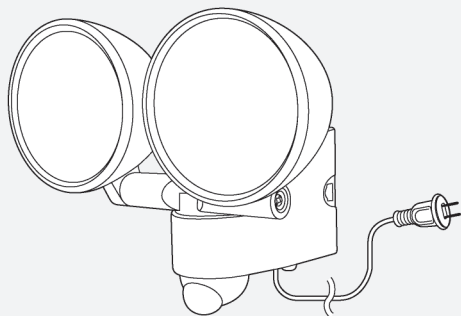
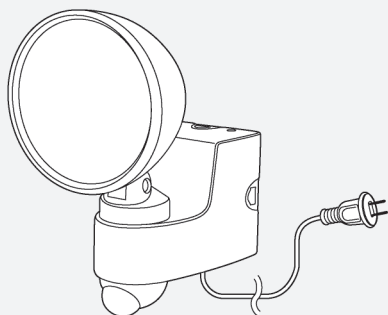
EARTH MAN®

アースマンシリーズ

防雨タイプ

LEDセンサーライト

シングル 12W×1 SLT-12LB
ダブル 12W×2 SLT-12LWB



お客様へ

- 本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
- 本製品の電源プラグを切断して延長コードをつなぐ工事を行わないでください。メンテナンスができないばかりでなく、接続不良による火災の原因となります。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に	1
安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
センサーについて	4
センサーのしくみ	
センサー誤作動の要因	
本製品について	7
用途	
各部の名称・セット内容	
仕様	
使用前の準備	9
各部の調整	
テスト点灯	
使い方	12
設置について	
お手入れ	20
保守・点検	
清掃	
保管	
故障かな?と思ったら	21
お買い上げの後に	26
LEDランプが点灯しない場合	
別売品のご紹介	
保証書	

※この取扱説明書は、使用方法などの説明にシングル SLT-12LB のイラストを掲載しています。ダブル SLT-12LWBとは形状が異なる箇所がありますので、あらかじめご了承ください。

TAKAGI.

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

本製品を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 使用電源は必ず本製品に表示されている電圧(家庭用AC100V)で使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・事故の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。(火災・故障の原因)

2. 使用場所の周囲状況も考慮してください。

- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 人が容易に触れる高さ(2.0m以下)に設置しないでください。
- 衝撃や振動の多い場所や、海岸隣接地帯に設置しないでください。
- 設置作業前に設置する場所に埋設物(電線管・水道管・ガス管など)がないことを確認してください。(事故の原因)

3. 火災・ヤケドに注意してください。

- 点灯中のランプは非常に高温となります。布や紙などで覆ったり、可燃物が近くにあると火災の原因となります。周囲の状況を十分に考慮して設置してください。
- 点灯中・消灯直後は非常に高温となっていますので、冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。
- 設置するときは、ランプ前面に2m以上、ランプの周辺には10cm以上の空間を設けてください。
- 本製品は本体設置面を垂直な場所に設置してください。天井・床などに直接取り付けたり逆さまに設置した場合、火災や故障の原因となります。

4. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。
- お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品は防雨型です。防水型ではありません。大量の水がかかる所や湿気の多い場所、浸水する恐れのある場所には設置しないでください。
- 本製品の本体面を垂直な場所に設置してください。

5. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物、油や角のところがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(コード破損の原因)
- 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

6. 屋外のコンセントを使用する場合、電源プラグは必ず防雨型コンセントへ差し込んでください。

- 屋外のコンセントを使用し、延長コードが必要な場合は、必ず市販されている防雨型延長コードを使用してください。

7. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 設置前に必ずテスト点灯を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常がないことを確認してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたりしたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

8. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

9. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

10. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかるところにきちんと保管してください。

11. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

12. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

また、他の人に貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

お使いになる前に(続き)

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 延長コードは防雨型のものを使用してください。

2. 本製品は完全防水型ではありません。

- 強雨・暴風雨が直接あたる所への設置はしないでください。
- 直接本体へ水をかけての丸洗いはしないでください。

3. 設置場所に注意してください。

- 検知させたい場所から2.5m以上の高さに設置しないでください。誤作動の原因となります。
- 電波器具の近くに設置しないでください。
- エアコンの室外機など、振動が発生したり、高温となる所には設置しないでください。
- センサーは電灯の近く、車のヘッドライトなどの光があたりやすい所、または反射しやすい壁・ガラス・水面の方向に向けないでください。

4. 点灯中のライトを長時間近くで見つめないでください。

5. 常温(5~40℃)で使用してください。

- 常温以外では点灯しない場合があります。

6. こまめにお手入れしてください。

- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は柔らかい布で、から拭きしてください。
- 汚れた著しい場合は、ランプが冷めた状態で薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

7. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には放置しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。



1. 本製品は検知エリア内に侵入するもの(人・車など)に対して注意・警告を促すにすぎません。盗難や犯罪を絶対的に防ぐものではないということをご承ください。
2. センサーは環境条件や設置条件により、思わぬ誤作動をする場合があります。センサーの特性を良く理解して、最も適した位置に設置してください。
3. 本製品はセンサー周囲との温度差のある物の動きを検知し、反応するしくみとなっています。温度差の少ない環境の場合、反応しにくくなります。また、センサーの検知特性上、センサーから離れるに従って同じ距離の移動でも検知しない場合があります。
4. 湿気の多い場所や雨中で使用した場合、ライトカバー内部がくもる場合がありますが、異常ではありません。

センサーについて

センサーのしくみ

注

●センサーからは何のエネルギーも放出されないで、人体には何の影響もありません。

●センサーは、物体(人など)から放出される赤外線(熱放射)を受動的にキャッチします。検知エリア内で物体(人など)が検知する方向に移動することによって、センサーが受ける赤外線の量が変化し、その変化具合に応じてライトが点灯します。

検知方法

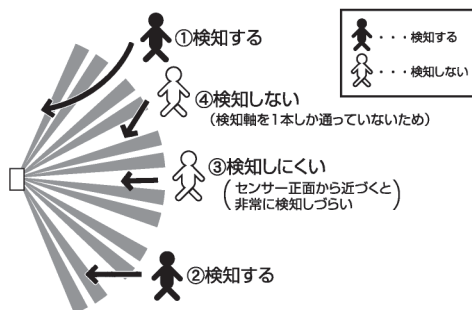
注

●体温、着衣、移動速度などの影響で、検知しにくかったり、周囲の温度で検知エリアが変化することがあります。

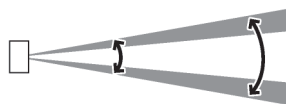
センサーについて

検知エリア内は、センサーレンズで分離された検知軸によってカバーされています。

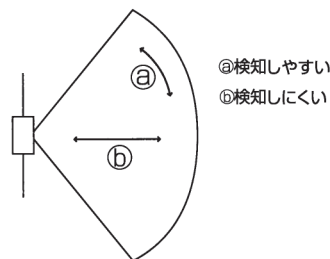
誤作動を防止するため2本以上の検知軸を通して初めて検知するしくみになっています。



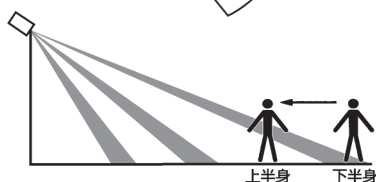
検知軸はセンサーから離れる程広がっており、センサーから離れる程大きな動きが必要となります。



設置場所は検知対象が検知軸を横切るような方向①になる部分を選ぶと効果的です。



1本の検知軸上をセンサーに向かって動いた場合 ③ でもその中で温度変化があった場合(上半身と下半身の体温の違いなど)検知することがあります。



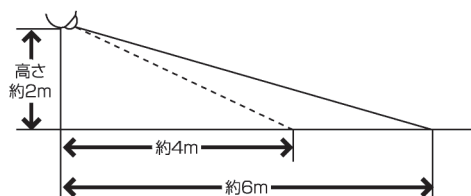
センサーについて(続き)

検知エリア

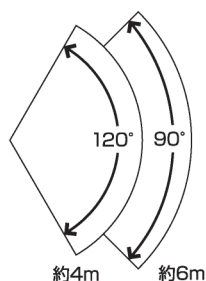
※下記の検知エリアはセンサーに対し横に動く物の性能値です。ただし、センサーに対して直進したり、横方向でも小さな動きだと検知しない場合があります。

※図は設置高さ2mのとき

〈横から見た図…検知距離〉



〈上から見た図…検知幅〉



検知エリアは目安です。設置場所や設置した環境条件の変化(季節・天候など)により変わります。

センサー誤作動の要因

1. 移動方向

センサーに向かって正面遠方より移動した場合、検知しません。センサーを横切ったときに検知します。しかし、センサーに近い所では直進も横切ったときも反応します。したがって、センサー部の向きを検知対象が横切るような方向にすると効果的です。

2. 環境温度による影響

- (1) 環境温度が非常に高いときや、非常に低いときは感度が高くなります。
感度が高い場合は、ほんの少しの動きでも反応し、誤作動を起こす可能性が高くなります。
- (2) 環境温度が人体の表面温度(32~35℃)に近い状態ですと、感度が鈍くなります。
設定が同じでも季節の温度変化などによって検知範囲が異なります。(夏場は感度が鈍くなります。)
- (3) 環境温度が極めて低く、衣類などを着込み、熱が発散されない場合は検知しない場合があります。

3. 天候による影響

- (1) 雨水がセンサーレンズを流れている場合は、ほとんど検知しません。
また、センサーレンズ上部から水滴が落ちる場合は誤作動する場合があります。
- (2) センサーレンズが凍結している場合は検知しません。
- (3) 風が強い場合は、誤作動を起こすことがあります。特にセンサーの検知エリアに樹木などがあり、枝・葉がゆれるとセンサーが反応する場合があります。
- (4) 湿度が高いときは、感度が鈍くなる場合があります。

4. 適さない設置場所

- (1) 温度変化の速い所：空調設備の吹き出し口付近など。
- (2) 電源が干渉されやすい所：同一電源に揚水ポンプや給湯器、その他電気器具などが併設されている場合。(対策として、ブレーカーで電源を分けることをお勧めします。)
- (3) 無線電波の障害：電波塔の下や、マイクロ波中継点の近くなど、電波器具のあるところでは障害を受けます。
- (4) 不安定な所：センサー本体が風や振動で揺れてしまうと誤作動の原因となります。
- (5) 高所への取り付け：検知させたい場所から2.5m以上の高さでは、検知能力が著しく低下したり、誤作動の原因となります。
- (6) 密閉された室内：温度・湿度の高い倉庫など。

5. その他

- (1) 小動物など、小さな検知対象がすばやく検知エリア内を移動したときは検知しない場合があります。
- (2) 検知対象が検知エリア内にあるときでも、動きや移動速度が非常にゆるやかだと検知しない場合があります。
- (3) センサーは温度(熱放射)の変化を検知するためガラス越しに動きがあっても検知しません。

本製品について

用途

◆一般家庭・駐車場・倉庫などの節電照明・防犯効果に

本製品は常夜灯としては使用できません。

各部の名称・セット内容

要 確 認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

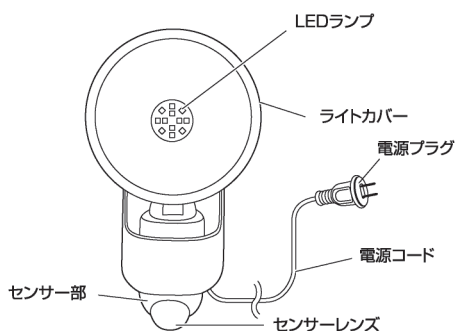
●付属品が全て揃っているか

●破損した箇所はないか

万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。

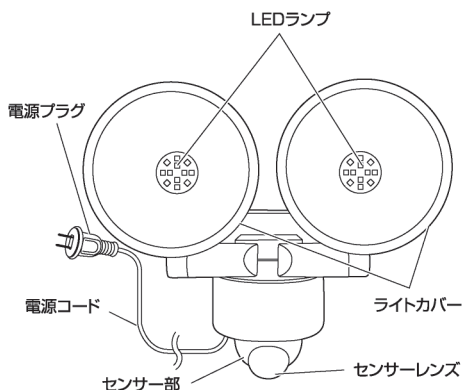
本 体

<シングル SLT-12LB>

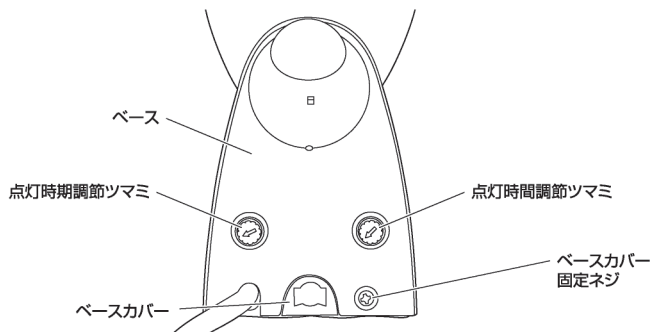


本 体

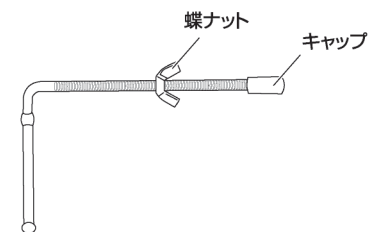
<ダブル SLT-12LWB>



<2機種共通本体底部>



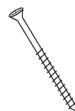
付属品



L型ネジ



クランプ台



木ネジ×2



プラグ×2

仕様

型 式	SLT-12LB	SLT-12LWB
電 圧	AC100V	
周 波 数	50/60Hz	
適用電灯の 定格消費電力	消灯時 1W	
	点灯時 最大12W	点灯時 最大24W
使 用 電 球	白色LED 12W(1W×12個)×1 ※交換不可	白色LED 12W(1W×12個)×2 ※交換不可
検 知 方 法	赤外線検知方式	
検 知 エ リ ア	約4m 検知幅120°	
	約6m 検知幅90°	
点 灯 時 間	約5秒～5分 (検知エリアに動きがなくなってからカウントされます。)	
点 灯 時 期	☀ 昼間・明るい所(夜間・暗い所でも点灯) / 🌙 夜間のみ・暗い所のみ 切替可能	
本 体 サ イ ズ	約長さ135×幅95×高さ175(mm)	約長さ140×幅200×高さ175(mm)
質 量	約560g	約780g
コ ー ド 長	約3m	
設 置 場 所	室内・屋外 ※本製品は防雨型であり、完全防水ではありません。 強雨・暴風雨のあたらない所に設置してください。	
使用環境温度	5～40℃	

※商品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

使用前の準備

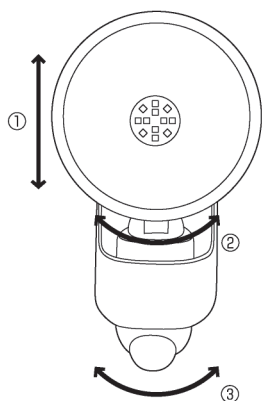
各部の調整

ランプ部・センサー部の角度調整

⚠ 注意

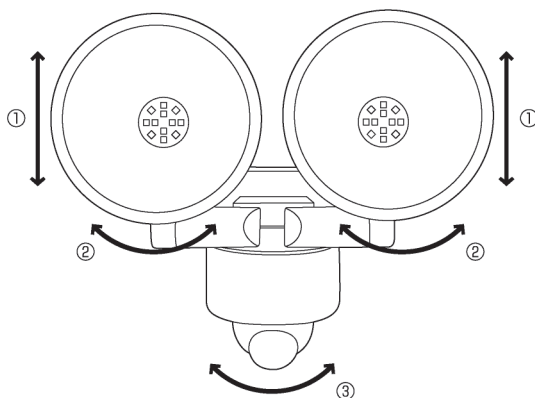
●角度を変えるときは、ゆっくりと動かしてください。無理に動かした場合破損する恐れがあります。

本製品はランプ部・センサー部の角度を調整することができます。設置状況に応じて好みの角度に調整してください。設置前に調整が可能な角度をよく確認してください。



<ランプ部の角度調整方法>

- ①ランプ部をゆっくりと動かし上下角度を調整してください。
- ②ランプ部をゆっくりと回転させて左右角度を調整してください。



<センサー部の角度調整方法>

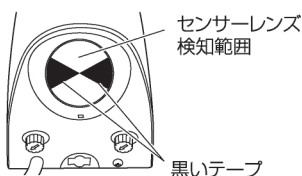
- ③センサー部をゆっくり回転させて左右角度を調整してください。

検知エリアの調節方法

- 検知方向の調節…センサー部の左右角度により調節できます。
- 検知幅の調節…

検知距離はそのまま、検知幅を狭くしたい場合は、右イラストのようにセンサーレンズに市販の黒いビニールテープを貼ってください。

センサーレンズを
正面から見た図

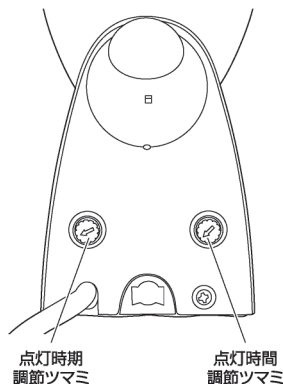


ツマミの調節

本体底部のツマミを調節することにより、点灯時期と点灯時間の調節をすることができます。

⚠ 注意

- ツマミは突き当たり以上に回さないでください。破損の原因となります。



〈点灯時期（明るさ）調節ツマミ〉

☀ 方向に最大に回すと昼間（明るい所）でも、夜間（暗い所）でも点灯します。

☾ 方向に最大に回すと夜間（暗い所）だけ点灯します。※通常使用設定



〈点灯時間調節ツマミ〉

点灯時間は、「5秒」方向に最大に回すと約5秒、「5分」方向に最大に回すと約5分に調節できます。

※ツマミの位置はあくまでも目安です。15秒・25秒など正確な調節は出来ませんので、テスト点灯を行いながら最適な位置に調節してください。



約5秒

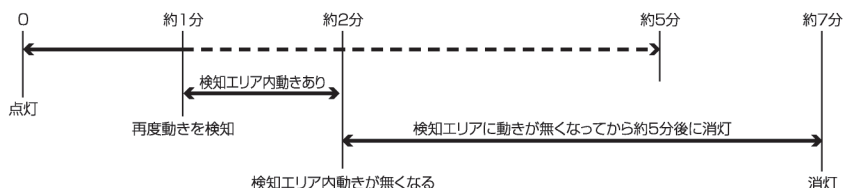


約5分

重要!

ランプが点灯してから消灯までの間に、再度センサーが動きを検知した場合、その動きが無くなってから再び設定時間がカウントされますので点灯時間が長くなります。

例：設定時間が約5分の場合



※点灯して約1分後に再度動きを検知し、約2分後まで検知エリア内に動きがあった場合、その動きが無くなってから設定時間の約5分間がカウントされ、合計で約7分点灯していることになります。

使用前の準備(続き)

テスト点灯

※必ず設置する前にテスト点灯を行い、正常に作動するか確認してください。

⚠ 警告

点灯中はランプが非常に高温となり、火災・ヤケドの原因となりますので、以下注意してください。

- 本製品のそばから離れないでください。
- ランプ付近に熱に弱い物を置かないでください。
- ランプの正面方向は2m以上の空間を設けてください。

⚠ 注

テスト点灯をするときは誤作動の原因となりますので、以下注意してください。

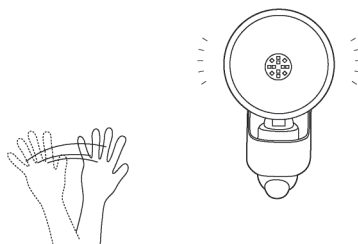
- テスト点灯は明るい屋内で行ってください。
- センサー部を動きや温度差のある物の方向に向けしないでください。
- 点灯中はセンサーライトを動かさないでください。

- ①右図のように点灯時期調節ツマミを「☀」方向に、点灯時間調節ツマミを「5秒」方向に最大に回し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- ②数回センサーを反応させ、正常に点灯することを確認してください。

※点灯してからセンサーライトを動かしたりセンサーが動きを検知すると消灯するまで時間がかかります。

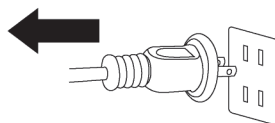


- ③点灯時期調節ツマミを「🌙」方向に最大に回して、検知点灯しないことを確認してください。

※テスト時の屋内が暗いと点灯する場合があります。



- ④電源プラグをコンセントから抜いてください。



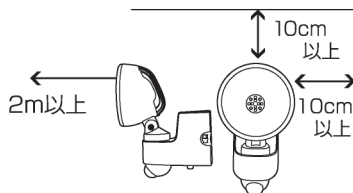
重要！ 設置前に必ずお読みください

- 本製品は、本項使い方とP.4・5・6のセンサーについてを良く理解した上で仮設置でテストをして最も良い位置に設置してください。
- 本製品は家庭用コンセントに電源プラグを差し込んで使用することを前提に作られています。電源プラグを切断して延長コードをつなぐ工事を行わないでください。メンテナンスができないばかりでなく接続不良による火災の原因となります。
- メンテナンス時などに、本体を使用者ご自身で取り外せるようにしてください。本製品を壁に埋め込むような設置工事は行わないでください。
- 改造による故障やその他損害については、一切の責任を負えません。また、それにとまなう工事やそれに対する工事費用についても一切の責任を負えませんのでご了承ください。

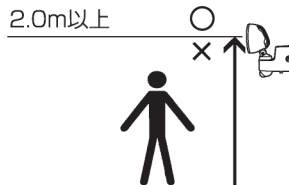
以下の設置は火災・ヤケド・故障の原因となります。

⚠ 警告

- 本体を設置するときはランプ前面に2m以上、ランプの周囲には10cm以上の空間を設けてください。



- 人が容易に触れる高さ(2.0m以下)に設置しないでください。



- 布や紙などで覆ったり、可燃物が近くにあると火災の原因となります。周囲の状況を十分に考慮して設置してください。



〈禁止例〉

- 本製品は本体設置面を垂直な場所に設置してください。天井・床などに直接取り付けたり逆さまに設置した場合、火災や故障の原因となります。



使い方(続き)

⚠ 注意

- 設置するときは、長期間確実に固定でき、落下の恐れがない場所に設置してください。
- 本製品は完全防水型ではありません。強雨・暴風雨が直接あたる所に設置しないでください。
- センサー周囲の温度が高い場所、特に夏場や倉庫の中などは検知しにくくなります。



以下の場所への設置は早期故障や落下、誤作動や検知不良の原因となりますので設置しないでください。

揺れる木や不安定な場所	樹木など、検知エリア内などで動く物がある場所	検知エリア内に空調機器の室外機など周囲との温度差を生じる物がある場所
電灯の近くや車のヘッドライトなどの光があたりやすい場所	検知エリア内に反射しやすい壁・ガラス・水面などがある場所	本体と同一電源に他の電気器具(ポンプや給湯器など)がある場所
検知させたい場所から2.5m以上の高さの場所	検知させたい場所がガラス越しの場合	近くに電波機器がある場所
車の往来が激しい道路に向けたり、センサーライトが点灯を繰り返す場所		

設置位置の確認

⚠ 警告

- 点灯中・点灯直後ランプは高温となります。確認を行うときはランプが手肌に触れないように注意してください。

注

- 設置位置確認は2人以上で行うようにしてください。
- センサーは周囲の環境により、検知距離・点灯時間に多少の誤差が生じます。
- 本製品を完全に固定設置する前に、設置予定の位置で機能するか十分確認してください。

- ①各部取り付けが確実に出来ていることを確認してください。



- ②P11.テスト点灯を参照し、点灯時期調節ツマミを「※」に、点灯時間調節ツマミを「5秒」に設定してください。

- ③センサーライトの電源プラグをコンセントに差し込み、設置予定位置に1人が本体を動かさないように押さえてください。そのとき、センサーレンズを隠さないようにし、またセンサー部がゆれて誤作動しないように注意してください。



- ④もう1人が検知点灯させたい位置で左右に動き、同時にセンサー部の角度を調整するなどして検知点灯させてください。



- ⑤設置位置が決定したら、点灯時期調節ツマミ・点灯時間調節ツマミをお好みの設定に調節してください。

完全に固定設置をする前に設置位置でのセンサー検知確認を必ず行ってください。

使い方(続き)

設置の方法

⚠ 警告

- 設置作業前に設置する場所に埋設物(電線管・水道管・ガス管など)がないことを確認してください。(事故の原因)
- 設置する場所の形状などによって設置できない場合があります。確実に設置できることを確認してください。
- 設置後に、必ず確実に固定され落下の危険がないか確認してください。

⚠ 注意

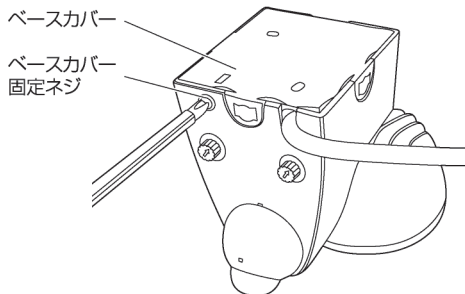
- 本製品を設置する前に位置や方向などを定め、正常に作動するかテスト点灯で確認してから取り付けてください。正常に作動しなかった製品を設置した場合、それにとまなう工事やそれに対する工事費用について一切の責任は負えませんのでご了承ください。

◇ 注

- 設置には⊕ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

<木材の壁などに設置する場合>

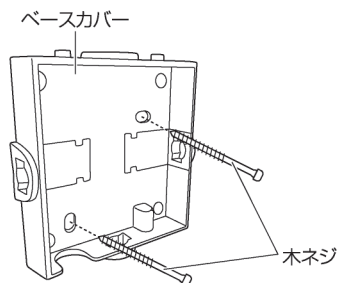
- ①本体底部にあるベースカバー固定ネジを⊕ドライバーで外し、ベースカバーを取り外してください。



- ②ベースカバーを壁にあてて、設置位置を確認してください。
※ベースカバーには上下がありますので間違えないように注意してください。
(逆さま設置はできません。)

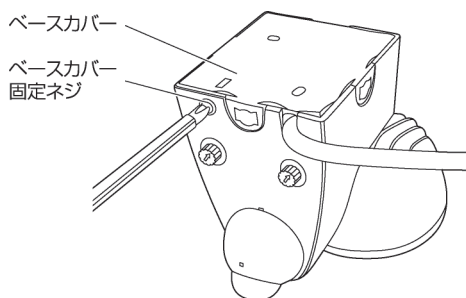
- ③位置を決めたら付属の木ネジで2箇所をしっかりと固定してください。

- ④ベースカバーに本体を元のように取り付けて、ベースカバー固定ネジで固定してください。



<コンクリート・タイル・レンガなどの壁などに設置する場合>

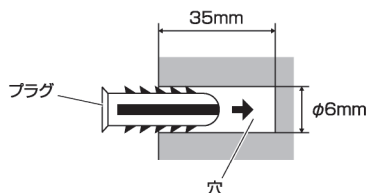
- ①本体底部にあるベースカバー固定ネジを⊕ドライバーで外し、ベースカバーを取り外してください。



- ②ベースカバーを壁にあてて、設置位置を確認してください。

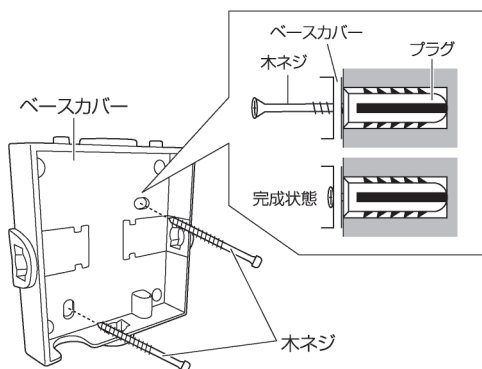
※ベースカバーには上下がありますので間違えないように注意してください。
(逆さま設置はできません。)

- ③ベースカバーの位置を決めたら電気ドリルなどで設置位置に穴をあけ(直径6mm×深さ35mm)、付属のプラグを穴の中に差し込んでください。



- ④ベースカバーをプラグの位置に合わせ、付属の木ネジで2箇所しっかりと固定してください。

- ⑤ベースカバーに本体を元のように取り付けて、ベースカバー固定ネジで固定してください。



使い方(続き)

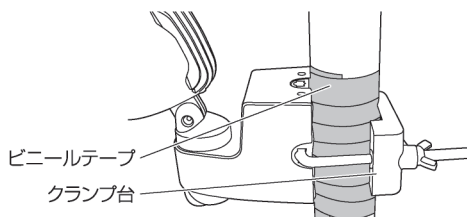
<クランプを使用して柱などに設置する場合>

⚠ 注意

- 万一落下しても、事故の起こらない場所に設置してください。
- 本体を不安定な場所にクランプで設置すると、本体自身が揺れて誤点灯することがありますので注意してください。

注

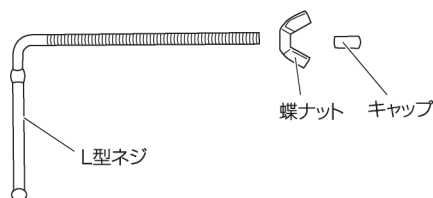
クランプを使用して円柱に設置する場合は、滑り止めのため、クランプ台があたる所に市販のビニールテープを巻きつけてください。



クランプの取付可能範囲の目安は円柱:約 $\phi 30 \sim 70$ mm、角材:約45mm角 ~ 100 mm角までです。

※クランプの取付可能範囲は形状により異なります。上記の数値はあくまで目安ですので、設置後に必ず確実に固定され落下の危険がないか確認してください。

- ① L型ネジからキャップと蝶ナットを取り外します。



- ② 右図のようにL型ネジを通し穴に奥まで差し込みます。

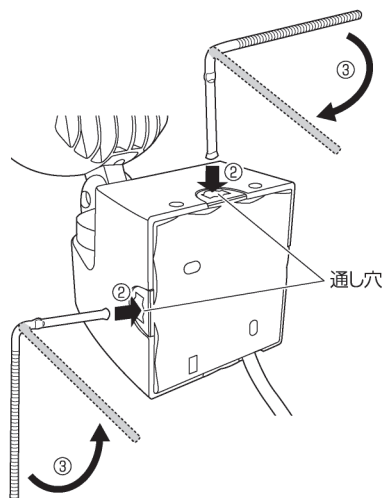
水平な場所に設置する場合:

上下の通し穴にL型ネジを通す

垂直な場所に設置する場合:

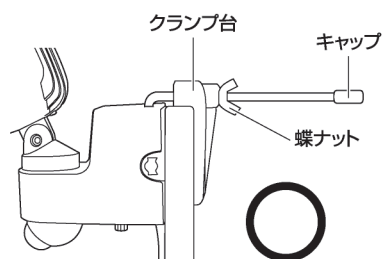
左右の通し穴にL型ネジを通す

- ③ L型ネジを90°回します。

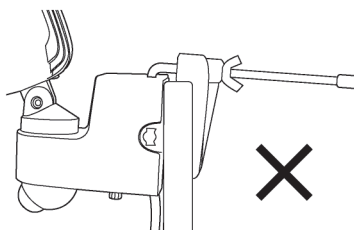
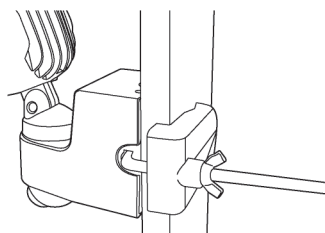


- ④クランプ台をL型ネジに通し、クランプ台の凸部が挟む部分の上にくるようにしてから蝶ナットでしっかりと固定し、キャップを取り付けてください。

◆取り付け例(水平な場所に設置)



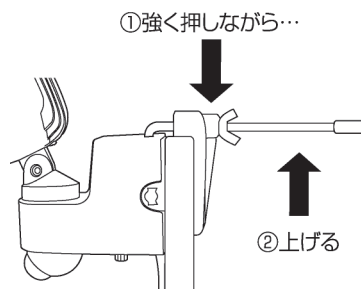
◆取り付け例(垂直な場所に設置)



使い方

※クランプ台で挟んで固定した後に、蝶ナットをゆるめてもクランプ台が食い込んで取り外せない場合があります。その時は右図のように

- ①クランプ台の手前(蝶ナット側)を強く押しながら
- ②L型ネジを上げてください。



使い方(続き)

＜センサーライト用バンド(別売)を使用してパイプなどに設置する場合＞

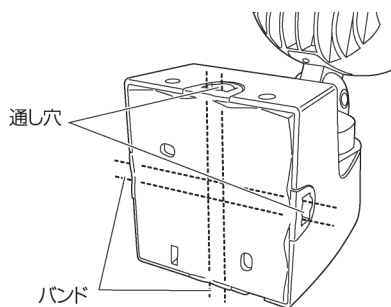
⚠ 注 意

- 角材などの角のある物には使用できません。
- バンドの締め付けネジを無理に締めすぎないでください。バンドの溝が破損する恐れがあります。
- 万一落下しても、事故の起こらない場所に設置してください。
- 本体を不安定な場所にバンドで設置すると、本体自身が揺れて誤点灯することがありますので注意してください。

バンドの取付可能範囲の目安は円柱:約Φ30～70mmまでです。

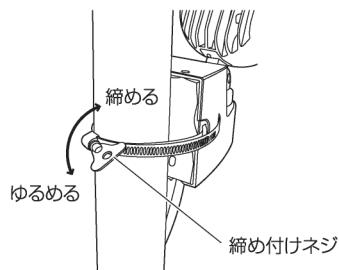
※バンドの取付可能範囲は形状により異なります。上記の数値はあくまで目安ですので、設置後に必ず確実に固定され落下の危険がないか確認してください。

- ①本体裏面左右両端または上下両端にある通し穴にバンドを通してください。



- ②右図のようにパイプにバンドを取り付けてください。バンドの締め付けネジをしっかり締め付けてパイプに固定してください。

◆取り付け例



お手入れ

保守・点検

警告

- 保守・点検などのお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、消灯直後は非常に高温となっていますので、十分に冷めてから行ってください。(ヤケドの原因)

各部ネジの点検

- 各部取付ネジなどのゆるみがないか確認してください。もしゆるみがある場合は締め直してください。

清掃

注意

- 本体のお手入れに、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、ランプが冷めた状態で薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で拭き取ってください。
- 本体に直接水をかけての丸洗いはしないでください。

センサー部

- センサーレンズに汚れが付着していると、周囲の明るさに正常に反応できなかったり、検知能力が著しく落ちます。定期的に清掃してください。

保管

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

故障かな?と思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
消灯しない	・検知エリア内に、人や車が頻繁に通っている。	・センサー部の向きを変えて、センサー感度を弱くするか、設置場所を変更してください。
	・近距離での使用(センサー部から2m以内に壁がある場合、消灯しないことがある。)	・センサー部の向きを変えて、センサー感度を弱くするか、設置場所を変更し2m以上壁から離してください。
設定時間内に消灯しない	・ランプ点灯中に動きを検知すると、再度その動きが無くなってから設定時間がカウントされ、点灯時間が長くなります。	・ランプが点灯し、検知エリアから動く物体が無くなれば設定時間後に消灯します。
	・点灯時間調節ツマミは、最短約5秒～最長約5分で調節できますが、15秒・25秒など正確な調節はできません。	・テスト点灯を行いながら最適な時間に調節してください。
誤作動点灯する	・本製品が揺れる木や不安定な場所に設置してある。	・本体を安定した場所に確実に固定してください。
	・空調機器の室外機や給湯器、車の排気口などの近くで温度変化がある。	・センサーは温度(熱放射)の変化を検知するため、センサー部の向きを変えるか、設置場所を変更してください。
	・反射しやすい壁、ガラス、水面の方向にセンサー部が向いている。	・センサー部の向きを変えて、センサー感度を弱くするか、設置場所を変更してください。
	・木の枝や犬などの小動物方向にセンサー部が向いている。センサー部に強雨がかかっている。	・センサー部の向きを変えて、センサー感度を弱くするか、設置場所を変更してください。
	・センサー部が壁に近い。	・壁とセンサー部を2m以上離してください。
日中でも点灯する	・設置場所が暗い。	・設置場所を現在位置よりも明るい所へ変更してください。
	・点灯ツマミが「※」に設定されている。	・点灯ツマミを「♪」に設定してください。
点灯しない	・コンセントに電源プラグが差し込まれていない。	・電源プラグをコンセントにきちんと差し込んでください。
	・電灯の近くや車のヘッドライトなどのあたりやすい所に設置されている。	・センサー部の向きを変えるか、設置場所を変更してください。

上記のいずれにもあてはまらない症状が発生した場合は、お買い上げの販売店または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

お買い上げの後に

LEDランプが点灯しない場合

本製品はLEDランプを使用していますが交換式ではありません。

P.21 故障かな?と思ったらの「点灯しない」場合の処置をしてもLEDランプが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

別売品のご紹介

- 本製品をお買い上げの販売店にてお買い求めください。
ご注文のときは、下記の品名・型式・JANをお伝えください。

品 名	型 式	JANコード
センサーライト用バンド	SLTP-1	4907052 628489

お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名		EM LEDセンサーライト		お買い上げ日		年 月 日	
型式		シングル12W×1 SLT-12LB	JANコード	4907052 630345	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月	
		ダブル12W×2 SLT-12LB		4907052 630352			
販売店		販売証明書や レシートなどを 添付してください。					

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

保証規定

発売元



株式会社 高儀

製品性能・品質・取り扱いに
関するお問い合わせは…

株式会社 高儀
お客様相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00(土日祭日および弊社の休日を除く)

修理(見積り含む)および別売品などの購入は、お買い上げの販売店にご依頼ください。上記相談窓口では直接対応はできません。あらかじめご了承ください。

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。